

奈良育英高 2022年

- 1** 【解き方】 (1) 乾いた路面での摩擦係数は0.7だから、求める制動距離は、 $50^2 \div (254 \times 0.7) = 2500 \div 177.8 = 14.06 \cdots (\text{m})$  小数第2位を四捨五入して、14.1m。
- (2) 濡れた路面での摩擦係数は0.5だから、制動距離は、 $50^2 \div (254 \times 0.5) = 2500 \div 127 = 19.68 \cdots (\text{m})$  時速50kmは、 $50000 \div (60 \times 60) = \frac{125}{9}$  より、秒速  $\frac{125}{9} \text{m}$  だから、空走距離は、 $0.75 \times \frac{125}{9} = \frac{3}{4} \times \frac{125}{9} = \frac{125}{12} = 10.41 \cdots (\text{m})$  よって、停止距離は、 $10.41 \cdots + 19.68 \cdots = 30.09 \cdots (\text{m})$  小数第2位を四捨五入して、30.1m。
- 【答】 (1) 14.1 (m) (2) 30.1 (m)

仁川学院高 2017年

- 2** 【解き方】  $y = ax^2$  の  $x$  の値が  $-2$  から  $6$  まで増加するときの変化の割合は、 $\frac{a \times 6^2 - a \times (-2)^2}{6 - (-2)} = \frac{32a}{8} = 4a$   $y = -2x + 3$  の変化の割合は  $-2$  なので、 $4a = -2$  より、 $a = -\frac{1}{2}$
- 【答】  $(a =) -\frac{1}{2}$

金光八尾高 2019年

- 3** 【解き方】  $x, y$  の変域から、 $a < 0$  で、 $x = 3$  のとき  $y = -6$  であることがわかる。 $y = ax^2$  にこれらの値を代入して、 $-6 = a \times 3^2$  より、 $a = -\frac{2}{3}$
- 【答】  $-\frac{2}{3}$

奈良育英高 2016年

- 4** 【解き方】  $y = ax^2$  に  $(-1, 4)$  を代入して、 $4 = a \times (-1)^2$  より、 $a = 4$   $y = 4x^2$  に  $(2, b)$  を代入して、 $b = 4 \times 2^2 = 16$
- 【答】  $(b =) 16$

光泉カトリック高 2021年

- 5** 【解き方】 (1) 放物線①の式に点 A の  $x$  座標  $x = p$  を代入して  $y$  座標を求めると、 $y = ap^2$  で、放物線②の式に点 B の  $x$  座標  $x = p$  を代入して  $y$  座標を求めると、 $y = bp^2$  3点 A, B, P の  $x$  座標は等しいので、 $y$  座標の差より、 $AP = ap^2 - 0 = ap^2$  で、 $AB = bp^2 - ap^2 = p^2(b - a)$   $AP = AB$  より、 $ap^2 = p^2(b - a)$   $p \neq 0$  より両辺を  $p^2$  でわって、 $a = b - a$  よって、 $b = 2a$
- (2) (1)より、放物線②は関数  $y = 2ax^2$  のグラフで、 $AB = AP = ap^2$  点 C の  $y$  座標は、 $y = a(p + 1)^2$ 、点 D の  $y$  座標は、 $y = 2a(p + 1)^2$  で、2点 C, D の  $x$  座標は等しいので、 $y$  座標の差より、 $CD = 2a(p + 1)^2 - a(p + 1)^2 = (2a - a)(p + 1)^2 = a(p + 1)^2$   $CD = 2AB$  より、 $a(p + 1)^2 = 2ap^2$  だから、 $(p + 1)^2 = 2p^2$  これを整理すると、 $p^2 - 2p + 1 = 1 + 1$  だから、 $(p - 1)^2 = 2$  より、 $p - 1 = \pm \sqrt{2}$  よって、 $p = 1 \pm \sqrt{2}$   $p > 0$  より、適するものは、 $p = 1 + \sqrt{2}$
- 【答】 (1)  $b = 2a$  (2)  $p = 1 + \sqrt{2}$

ブール学院高 2018年

- 6** 【解き方】 (1) 点 Q は、 $y = \frac{a}{x}$  のグラフ上の点だから、 $y = \frac{a}{x}$  に点 Q の座標の値を代入すると、 $16 = \frac{a}{3}$  より、 $a = 48$
- (2) 直線 PQ の傾きが  $-4$  だから、直線 PQ の式を、 $y = -4x + c$  とおいて、点 Q の座標の値を代入すると、 $16 = -4 \times 3 + c$  より、 $c = 28$  よって、 $y = -4x + 28$
- (3)  $y = \frac{48}{x}$  の両辺を  $x$  倍すると、 $xy = 48$  これより、 $x$  座標が  $48$  の正の約数であれば、 $y$  座標も整数 ( $48$  の約数) になる。 $48$  の正の約数は、 $1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 16, 24, 48$  だから、求める点の個数は  $10$  個。
- (4) 点 P は  $xy = 48 \cdots \cdots \textcircled{1}$  と  $y = -4x + 28 \cdots \cdots \textcircled{3}$  のグラフの交点だから、 $\textcircled{3}$  を  $\textcircled{1}$  に代入して、 $x(-4x + 28) = 48$   $-4x^2 - 28x + 48 = 0$  より、 $x^2 - 7x + 12 = 0$  したがって、 $(x - 3)(x - 4) = 0$  より、 $x = 3, 4$   $x = 3$  は点 Q だから、点 P の座標は  $(4, 12)$  よって、 $y = bx^2$  に  $x = 4, y = 12$  を代入して、 $12 = b \times 4^2$  より、 $b = \frac{3}{4}$

【答】 (1)  $a = 48$  (2)  $y = -4x + 28$  (3)  $10$  個 (4)  $b = \frac{3}{4}$

仁川学院高 2015年

- 7** 【解き方】 交点の  $y$  座標は、 $y = \frac{1}{3} \times 6^2 = 12$  よって、 $x = 6, y = 12$  を  $y = ax + 4$  に代入して、 $12 = 6a + 4$  より、 $a = \frac{4}{3}$

【答】  $(a =) \frac{4}{3}$

初芝橋本高 2014年

- 8** 【解き方】  $y$  の値は  $16a$  から  $4a$  と変化するので、 $y$  の増加量は、 $4a - 16a = -12a$  このとき、変化の割合は、 $\frac{-12a}{(-2) - (-4)} = -6a$  よって、 $-6a = -2$  より、 $a = \frac{1}{3}$

【答】  $a = \frac{1}{3}$

龍谷大付平安高 2018年

- 9** 【解き方】 (1)  $y = bx + c$  の傾きが、 $b > 0$  より、 $x = -1$  のとき、 $y = 0$  また、 $x = 3$  のとき、 $y = 6$  となる。よって、 $y = bx + c$  に代入すると、 $0 = -b + c \cdots \cdots \textcircled{i}$ 、 $6 = 3b + c \cdots \cdots \textcircled{ii}$  なので、 $\textcircled{i} - \textcircled{ii}$  より、 $-4b = -6$  よって、 $b = \frac{3}{2}$ 、 $c = \frac{3}{2}$   $y = ax^2$  は、 $y$  の変域が正なので、 $a > 0$  となるから、 $x = 3$  のとき、 $y = 6$  となる。したがって、 $6 = a \times 3^2$  より、 $a = \frac{2}{3}$
- (2)  $x = t$  のとき、 $y = \frac{2}{3}t^2$  なので、 $x$  の値が  $0$  から  $t$  まで変化するときの変化の割合は、 $\frac{2}{3}t^2 \div t = \frac{2}{3}t$  よって、 $\frac{2}{3}t = \frac{3}{2}$  より、 $t = \frac{9}{4}$

【答】 (1)  $\textcircled{1}$  (2)  $\textcircled{1}$

京都橋高 2017年

**10** 【解き方】 (1)  $y = x^2$  と  $y = 2x + 3$  を連立して解くと、 $x^2 = 2x + 3$  より、 $x^2 - 2x - 3 = 0$  左辺を因数分解して、 $(x + 1)(x - 3) = 0$  より、 $x = -1, 3$  よって、 $x = -1$  のとき、 $y = (-1)^2 = 1$ 、 $x = 3$  のとき、 $y = 3^2 = 9$  より、P (-1, 1)、Q (3, 9)

(2) P、Q の  $x$  座標をそれぞれ  $p, q$  とすると、 $p, q$  は、 $ax^2 = 2x + 3$  の2つの解であるから、 $x = p, x = q$  を代入すると、それぞれ  $ap^2 = 2p + 3 \cdots \cdots \textcircled{1}$   $aq^2 = 2q + 3 \cdots \cdots \textcircled{2}$  が成り立つ。 $\textcircled{1} - \textcircled{2}$  より、 $a(p^2 - q^2) = 2(p - q)$  なので、 $a(p + q)(p - q) = 2(p - q)$  となり、 $p - q \neq 0$  より、両辺を  $p - q$  で割って、 $a(p + q) = 2$  よって、 $p + q = \frac{2}{a}$  となる。したがって、M の  $x$  座標は、 $\frac{p + q}{2} = \frac{1}{a}$  また、 $y = 2x + 3$  に  $x = \frac{1}{a}$  を代入して、 $y = \frac{2}{a} + 3$  より、 $M\left(\frac{1}{a}, \frac{2}{a} + 3\right)$

(3)  $y = ax^2$  に  $x = \frac{1}{a}$  を代入すると、 $y = a \times \left(\frac{1}{a}\right)^2 = \frac{1}{a}$  より、 $MN = \left(\frac{2}{a} + 3\right) - \frac{1}{a} = \frac{1}{a} + 3$  よって、 $\frac{1}{a} + 3 = 5$  より、 $\frac{1}{a} = 2$  だから、 $a = \frac{1}{2}$

【答】 (1) P (-1, 1) Q (3, 9) (2)  $M\left(\frac{1}{a}, \frac{2}{a} + 3\right)$  (3)  $(a =) \frac{1}{2}$

金光八尾高 2017年

**11** 【解き方】 (1)  $y = ax^2$  に点 S の値を代入して、 $16 = a \times (-8)^2$  より、 $a = \frac{1}{4}$

(2) 点 P の  $y$  座標は 16 なので、 $16 = x^2$  より、 $x = \pm 4$  点 P の  $x$  座標は正なので、 $x = 4$  よって、P (4, 16)

(3) P ( $t, t^2$ )  $y = \frac{1}{4}x^2$  に  $y = t^2$  を代入して、 $t^2 = \frac{1}{4}x^2$   $x^2 = 4t^2$  より、 $x = \pm 2t$   $t > 0$  で、点 Q の  $x$  座標は負なので、Q ( $-2t, t^2$ ) よって、 $PQ = t - (-2t) = 3t$

(4) R( $t, \frac{1}{4}t^2$ ) より、 $PR = t^2 - \frac{1}{4}t^2 = \frac{3}{4}t^2$  したがって、 $3t : \frac{3}{4}t^2 = 4 : 3$  より、 $3t^2 = 9t$   $t^2 - 3t = 0$  より、 $t(t - 3) = 0$  よって、点 P の  $x$  座標は 3 で、 $y = x^2$  に  $x = 3$  を代入して、 $y = 3^2 = 9$  より、P (3, 9)

【答】 (1)  $(a =) \frac{1}{4}$  (2) (4, 16) (3)  $3t$  (4) (3, 9)

報徳学園高 2017年

**12** 【解き方】 (1)  $y = ax^2$  が、A (-2, 2)を通ることから、 $2 = a \times (-2)^2$  よって、 $a = \frac{1}{2}$

(2)  $y = \frac{1}{2}x^2$  に、 $y = 8$  を代入して、 $8 = \frac{1}{2}x^2$  より、 $x^2 = 16$  なので、 $x = \pm 4$  点Bのx座標は正だから4。

(3) 直線ABの傾きは、 $\frac{8-2}{4-(-2)} = 1$  だから、直線の式を  $y = x + b$  とおいて、 $x = 4$ ,  $y = 8$  を代入すると  $8 = 4 + b$  より、 $b = 4$  よって、直線ABとy軸との交点をCとすると、C(0, 4)だから、 $\triangle AOB = \triangle AOC + \triangle BOC = \frac{1}{2} \times 4 \times 2 + \frac{1}{2} \times 4 \times 4 = 4 + 8 = 12$

(4) x軸について点Bと対称な点をB' とすると、点Pがx軸上のどの位置にあっても、 $PB = PB'$  だから、 $AP + PB = AP + PB'$  となる。3点A, P, B' が一直線上に並ぶとき、 $AP + PB'$  の長さが最短となるから、直線AB'とx軸との交点がPとなる。B'(4, -8)だから、直線AB'の式は、 $y = -\frac{5}{3}x - \frac{4}{3}$  この式に、 $y = 0$  を代入して、 $0 = -\frac{5}{3}x - \frac{4}{3}$  より、 $x = -\frac{4}{5}$  よって、求める点Pのx座標は  $-\frac{4}{5}$

【答】 (1)  $(a =) \frac{1}{2}$  (2) 4 (3) 12 (4)  $-\frac{4}{5}$

京都光華高 2016年

**13** 【解き方】 (1)  $y = ax^2$  に  $x = 6$ ,  $y = \frac{4}{a}$  を代入して、 $\frac{4}{a} = a \times 6^2$  より、 $a^2 = \frac{4}{36} = \frac{1}{9}$  よって、 $a = \pm \frac{1}{3}$   $a > 0$  より、 $a = \frac{1}{3}$

(2)  $y = \frac{1}{3}x^2$  に  $x = 3$  を代入すると、 $y = \frac{1}{3} \times 3^2 = 3$  より、A(3, 3) また、 $y = \frac{1}{3}x^2$  に  $x = -4$  を代入すると、 $y = \frac{1}{3} \times (-4)^2 = \frac{16}{3}$  より、B $\left(-4, \frac{16}{3}\right)$  よって、直線ℓの傾きは、 $\left(3 - \frac{16}{3}\right) \div \{3 - (-4)\} = -\frac{7}{3} \div 7 = -\frac{1}{3}$  より、直線ℓの式を  $y = -\frac{1}{3}x + b$  とおいて、 $x = 3$ ,  $y = 3$  を代入して、 $3 = -\frac{1}{3} \times 3 + b$  より、 $b = 4$  よって、直線ℓの式は  $y = -\frac{1}{3}x + 4$

(3) 直線BPの傾きは、 $\left(12 - \frac{16}{3}\right) \div \{6 - (-4)\} = \frac{20}{3} \div 10 = \frac{2}{3}$  直線BPの式を  $y = \frac{2}{3}x + q$  とおいて、 $x = 6$ ,  $y = 12$  を代入して、 $12 = \frac{2}{3} \times 6 + q$  より、 $q = 12 - 4 = 8$  直線APの傾きは、 $\frac{12-3}{6-3} = 3$  より、直線mの式は  $y = 3x + 8$  よって、 $y = 3x + 8$  と  $y = -\frac{1}{3}x + 4$  を連立して解くと、 $x = -\frac{6}{5}$ ,  $y = \frac{22}{5}$  より、求める交点の座標は  $\left(-\frac{6}{5}, \frac{22}{5}\right)$

【答】 (1)  $(a =) \frac{1}{3}$  (2)  $y = -\frac{1}{3}x + 4$  (3)  $\left(-\frac{6}{5}, \frac{22}{5}\right)$

初芝橋本高 2017年

**14** 【解き方】  $y = \frac{1}{2}x^2$  に  $x = 3$  を代入すると、 $y = \frac{9}{2}$  より、交点の座標は  $\left(3, \frac{9}{2}\right)$  なので、これを  $y = x + b$  に代入して、 $\frac{9}{2} = 3 + b$  よって、 $b = \frac{3}{2}$

【答】  $\frac{3}{2}$

平安女学院高 2013年

**15** 【解き方】 (1)  $y = ax^2$  に  $x = -3$  を代入して,  $y = a \times (-3)^2 = 9a$  より, A  $(-3, 9a)$   $x = 2$  を代入して,

$y = a \times 2^2 = 4a$  より, B  $(2, 4a)$  直線 AB の傾きは  $-1$  なので,  $\frac{4a - 9a}{2 - (-3)} = -1$  これを解いて,  $a = 1$

(2) (1)より, A  $(-3, 9)$ , B  $(2, 4)$  直線 AB の式を  $y = -x + b$  とおいて, 点 B の座標を代入すると,  $4 = -2 + b$  より,  $b = 6$  よって, 直線 AB と  $y$  軸の交点を C とすると,  $OC = 6$  となるから,  $\triangle AOB = \triangle AOC + \triangle BOC = \frac{1}{2} \times 6 \times 3 + \frac{1}{2} \times 6 \times 2 = 15$

(3) 線分 AB の中点を D とすると,  $D\left(\frac{-3+2}{2}, \frac{9+4}{2}\right)$  より,  $D\left(-\frac{1}{2}, \frac{13}{2}\right)$  よって, 求める直線は原点 O を通り, 傾きが,  $\frac{13}{2} \div \left(-\frac{1}{2}\right) = -13$  なので, その式は,  $y = -13x$

(4)  $-3 \leq x \leq 2$  のとき,  $y = x^2$  の最小値は  $0$  で, 最大値は点 A の  $y$  座標より  $9$  だから,  $y$  の変域は  $0 \leq y \leq 9$  求める 1 次関数を  $y = px + q$  とおくと,  $-3 \leq x \leq 2$  のとき  $0 \leq y \leq 9$  となるのは, 直線  $y = px + q$  が, 2 点  $(-3, 0)$ ,  $(2, 9)$  を通る場合(……㊦)と, 2 点  $(-3, 9)$ ,  $(2, 0)$  を通る場合(……㊧)。㊦の場合,  $\begin{cases} 0 = -3p + q \\ 9 = 2p + q \end{cases}$  を解いて,  $p = \frac{9}{5}$ ,  $q = \frac{27}{5}$  ㊧の場合,  $\begin{cases} 9 = -3p + q \\ 0 = 2p + q \end{cases}$  を解いて,  $p = -\frac{9}{5}$ ,  $q = \frac{18}{5}$

よって, 求める 1 次関数は,  $y = \frac{9}{5}x + \frac{27}{5}$  と  $y = -\frac{9}{5}x + \frac{18}{5}$

【答】 (1) ( $a =$ )  $1$  (2)  $15$  (3)  $y = -13x$  (4)  $y = \frac{9}{5}x + \frac{27}{5}$ ,  $y = -\frac{9}{5}x + \frac{18}{5}$